

被爆・終戦80年 核兵器の禁止・廃絶を目指して

猛暑が続く日本列島。今年の国民平和大行進は7月19日、黒崎駅をスタートし途中休憩を挟みながら1時間かけて八幡西民商まで行進し「核兵器廃絶」を市民に呼びかけました。

平和を求める団体・個人など約30人が一緒に進み、八幡西民商から役員・事務局員4人が参加しました。

世界ではロシアによるウクライナ侵略、パレスチナ・ガザ地区で住民虐殺を続けるイスラエル。アメリカによるイラン核施設への先制攻撃など対立と分断が進み、日本はじめヨーロッパなどでも軍備



カムズ通りに集合して平和行進に参加の皆さん

増強が進められています。

その一方、2017年に核兵器禁止条約が採択され、一部の核保有国と日本を含むその同盟国などが反対していますが、すでに94の国が署名し、昨年には被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた「日本被団協」がノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器廃絶への大きな流れとなっています。

被爆国である日本政府が、核兵器禁止条約に参加し、核兵器廃絶の先頭に立つことが、求められています。

戦前は、自由な商売も許されず、自営業者も戦争へ加担させられました。民商では「平和でこそ商売繁盛」と核兵器廃絶運動に取り組んでいます。ぜひ、みなさんも一緒に参加して核兵器も戦争もない世界を目指して歩みましょう。

【参加者の感想】
鶴田理事（陣原）：初めての参加でした。もう少し参加者が増えて、目立つような工夫があってもよかったです。のかなと思いました。ニュー



暑い中3号線沿いを行進する皆さん



左から清水事務局長・宮崎常任理事・野嶋副会長・鶴田理事

宮崎常任理事（東部）：10数年ぶりに行進しました。楽しかったです。「世界から核兵器廃絶を」の思いで行進しました。
野嶋副会長（折尾）：久しぶりに歩きました。思っていたより参加者が多く、私たちの行進に手を振ってくれる方もおられ、うれしかったです。来年も続くと思うので、また参加したいです。

今週のお花



鹿の子百合の花言葉は、「荘厳」「慈悲深さ」「上品」。また、「富と誇り」という花言葉も持つとされています。これは、鹿の子模様の斑点と、反り返る花卉の姿が由来とされています



8月	行事・会議など日程	支部・専門部など
4月		
5火		
6水	労働保険学習会 13:30～	
7木		
8金		
9土	原水爆世界大会in長崎	
10日	倉敷民商福岡の会総会	
11月	山の日	
12火		
13水		
14木	盆休み(事務所閉めます)	
15金		
16土		
17日	消費税各界連総会	
18月	記帳相談会 13:30～/会員訪問 18:00～	
19火		
20水		
21木		
22金	3.13消費税引下げ宣伝 八幡駅前 17:30～	
23土		
24日		
25月		
26火	福商連事務局交流会 久留米	
27水		
28木		
29金	法人集団申告 11:00～	
30土		
31日		



15日末集金

月末集金

八幡西民商 共済会総会 のご案内

【 日 程 等 】

日 時：8月24日（日）11：00～12：00 総会

12：00～13：30 懇親会

会 場：民商事務所

内 容：1年間の活動報告、決算予算など

総会終了後、懇親会としてオードブルと飲み物を用意しています。代議員のみならず、多くの参加者で開催したいので、ご参加宜しくお願いします

共済金を受け取られた方から、
民商へ一言ハガキが届いています

支 部	名 前	ひとこと
東 部	Fさん	出産でお祝いを頂けてとてもありがたいです。ありがとうございました。
中黒崎	Iさん	共済金受け取りました。加入していて良かったです。ありがとうございました。
中黒崎	Sさん	共済金（入院見舞金）少しの掛け金でありがとうございます。 感謝
中黒崎	Nさん	正月前に入院したので売上がなく、本当に助かりました。ありがとうございました。
中黒崎	Hさん	共済に入っていて良かったです。ありがとうございました。
三ヶ森	Sさん	ありがとうございました。高額医療費値上げ凍結！消費税増税反対！！

業者婦人の地位向上をめざす アンケート中間集計に7人参加

八幡西民商婦人部は、7月の役員会でアンケートの取り組みについて話し合い日程を決め、7月22日に業者婦人実態調査アンケートの中間集計を行い7人が参加しました。

最終集計は7月29日と決め、締切に間に合うよう協力する事としました。

中間集計の内容は、比較的30～59歳では、申告形態は白色と青色は半々で、【働き方について】自営業で良かったことは、お客さんに喜んで貰えることが圧倒的に多く、次いで時間が自由に取れるや年齢関係なく自分のペースで働けることでした。要望する地域振興・行政支援は、商店街・空き家店舗対策、道路の整備・バリアフリー化、雇用対策が最も多かったです。

【家業の経営について】2024年下売上は、やや伸びたは少なく、ほとんどは横ばいか3割から半分の減少でした。逆に仕入れは、非常に上がった、上がったが占めていました。利益も300万円未満で100万円未満が多く、総合的に見て経営は悪い状況でした。物価高騰が経営に影響を及ぼしており、事業継続への支援策と

して消費税の減税やインボイス制度廃止、国保・社保の軽減、物価高騰への自治体による支援やガソリン代・水光熱費の引き下げを上げています。事務負担も増えインボイス制度は廃止すべきとの意見も多かったです。

【暮らしと健康について】家業の営業所得だけでは生活できず、貯金の取り崩しやパートで働く方もおり、各種税金、国保料・年金、水光熱費が重くのしかかっているようです。体調が悪くても人手が足りず休めない方も半数いて、健康診断は年に1度は大半が受けてはいるが婦人科健診は定期的に受けている方は半数でした。生活で困りごとは、自分や家族の健康や老後の不安で、次いで介護と生活費が足りないことでした。悩み事の相談先は、家族が最も多くあとは、友人となっていました。

業者婦人の実態を統計している資料は少なく、貴重なものとなります。その統計報告を多くの議員に知らせ、業者婦人の地位向上を目指します。

婦人部担当 正岡



分担して集計する婦人部の皆さん

会員・読者を増やし 大きな民商へ

新年度になり初めての会員訪問を7月22日に行いました。連日の猛暑。集合時間の夕方6時でも太陽の西日が照り付ける中、役員5人が集まり、「前年度に引き続き、若い会員や新しい会員からの紹介を広げよう」と3組に分かれて15軒を訪問しました。

坂井会長・清水事務局長組は新入会会員と新しく常任理事になられた会員を訪問。先月入会した会員宅では、本人は不在でしたが、お母さんとの対話で「娘は新聞を見ているですよ。気になる記事を見て勉強しています」とうれしい返事がありました。

宮崎常任理事・松尾常任理事・中園事務局員組は5軒を訪問。会費の支払いが遅れている会員宅では仕事

帰りの本人と会えて会費の支払いの約束ができました。役員も「偶然会えた。訪問して良かった。」と会員訪問での成果を報告しました。

松本副会長・上本副会長・正岡事務局員組は新会員など6軒を訪問。新会員は不在でしたが、会員に拡大セットを手渡し紹介運動を呼びかけました。また、上本副会長行きつけの床屋さんへ飛び込みで訪問。「もし、よかったら商工新聞を読んでみませんか」と宣伝紙を手渡しました。

訪問を終え、坂井会長から「会員訪問は継続してやっていこう」「新しいお店にはポスティングするなど、工夫もしていこう」と引き続き会員訪問を頑張ろうと呼びかけました。

『税務調査・労働保険・記帳申告など商売でお困りの方いませんか？』民商をご紹介します。

事務局長 清水